

外部開閉遮光に「タキイ涼感ホワイト」を使用！

# 遮熱と天候不順の対策を両立し、コストを抑えて省力化も実現！

タキイ種苗株式会社 資材部

## 夏場の遮熱対策について

近年は夏場の高温が各地で問題となり、遮熱ネット（以下ネット）を必要としていなかった東北地方以北でも、ネットの展開が必須となりつつあります。さらに猛暑が続くと、ネットを展開してもハウス内の温度が外気温とあまり変わらず、さらなる遮熱対策としてミストの導入などの相談を受けることがあります。コストや効果の面で導入が進んでおりません。

また、異常気象にともなう長雨やゲリラ豪雨による不安定な気候が続く状況では、ネットの展開により日照不足や徒長の懸念があり、それらを回避するためのこまめなネットの撤去は生産者にとって負担になってしまいます。夏場の遮熱資材としておすすめの



↑「涼感ホワイト」を巻き上げた状態のハウス。

「タキイ涼感ホワイト」は、熱線（赤外線）を効率よく反射し、ハウス内を明るく保つワリフ（ネット状ポリエチレン不織布）の可視光線透過型シートです。紫外線劣化防止剤入りで丈夫なうえ、一般的なネットに比べて軽量なので展開作業が楽に行えます。

今回はこの「タキイ涼感ホワイト」の遮熱効果と丈夫な素材を生かした、開閉できる外部遮光の展開方法をご提案したいと思います。

### 「タキイ涼感ホワイト」を外部遮光としてすすめる理由

近年は熱線を反射する白系素材のネットが普及し、通常、ネットをハウスに展開する場合は、ハウスバンドやスプリング、パッカーなどで固定をします。一方で一度展開すると容易に開閉ができないため、展開期間と効果を踏まえたうえで、適切な遮光率のある製品を選択する必要があります。また、省力化や自動化ができない点も課題となっています。

今回ご紹介する方法で「涼感ホワイト」を外部遮光として展開すると、①遮熱ネットを開閉することで、細やかな栽培管理や天候不順に対応でき、春先や秋口まで展開期間を延長することが可能。②既設ハウスを改修したり、ハウスに登って作業したりすることなく、安全にネットの設置や撤去ができ

る。③ネットの加工や展開を工夫し、ハウスバンドやパッカー、巻き上げ装置など汎用的な部材を活用することで設置費用を抑えることができる。などのメリットがあります。

### 「タキイ涼感ホワイト」外部開閉遮光の展開方法

#### 事前準備

① ネットのセンター部分に2列のハトメをした「タキイ涼感ホワイト」を準備します。

② あらかじめ、ハウスをまたぎ、両サイドの地上部で固定できる長さのハウスバンド（以下バンド）をネットに通します。バンドの真ん中に目印を付け、1カ所に2本通します。センター部でそれぞれ片結びをします。

③ バンドがネットの上に4本ある状態で、ハトメに1本ずつ通します。上に2本、下に2本ある状態になれば、準備完了です。バンドが絡まないように注意してください。（左頁二次元コードを参照）

#### ネットの設置

① ネットが固定できるパイプもしくはアンカー杭などを設置します。既設があれば、準備は不要です。

② ネットをハウス上部に載せ、ネットの下のバンドで地上部と固定。ハトメ部分がハウスの中央にくるように左右調整をし、しっかりとずれないよ





↑「涼感ホワイト」を下側のバンドでハウスに固定、上側のバンドでバタつきを抑える。

うに固定します。長さ方向もシワがよらないよう調整しながら設置してください。

③上のバンドを結んで「涼感ホワイト」のバタつきを抑えます。巻き上げに支障がないようやや緩め、巻き上げパイプの設置後に微調整を行います。

**巻き上げの設置について**

①巻き上げパイプをパッカーで固定します。パイプの巻き取るネット部分の幅が異なると、巻き上げ不良や蛇行の原因となるため、できるだけそ

外部開閉  
遮光の

### よくある質問！

#### Q1 どんなハウスでも設置できますか？

A 一般的な簡易パイプハウスに設置ができます。天窓がある場合、設置できません。パイプに歪みがあると、うまく巻き上がらない場合があります。

#### Q2 天井部のネットはどの程度まで収束しますか？

A ハウスによって異なりますが、天井部のセンターに各50cm程度に収束でき、パッカーやハウスバンドで調整は可能です。

#### Q3 強風や大雪のときはどうしますか？

A 巻き上げた状態の2本のパイプを妻面で結び、固定してください。想定を超える強風や積雪、ハウスの強度に懸念がある場合は、地際の片側のロープをほどくことで簡単に撤去でき、結び直すことで再び設置可能です。

#### Q4 設置後、注意すべき点がありますか？

A 季節や気温によってハウスバンドが伸縮するので、適宜、結び直して調整してください。また、巻き上げた部分の天井部のフィルムが汚れる場合がありますので、気になる場合は、高圧洗浄機などで汚れを落としてください。

### 今後の取り組み

ろえます。

②「タニカンキット」などの巻き上げ装置を設置し、テストを行います。手前と奥の巻き上げりの違いや、蛇行するようであれば、パッカーの位置やウエイトを付け調整します。

社会情勢を背景にした資材コストの上昇や、異常気象による温暖化対策など、生産者の皆様を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。引き続き、メ

「涼感ホワイト」の  
詳細・簡易開閉動画はコチラ



センター2列ハトメの  
結び方をもっと詳しく



ーカー様と共に効果的な保温資材による燃料や二酸化炭素の削減、病害虫対策、環境制御による品質向上や省力化など、生産者の皆様の収益向上や安定に結びつくよう、取り組みます。

## 「涼感ホワイト」を使用した外部開閉遮光を導入された

株式会社あいふあーむHIKIDA 代表取締役 疋田 翔悟 様



滋賀県彦根市のハウスにて、周年でコマツナ・ホウレンソウを栽培しています。できるだけ品質のよい物を作るために、コマツナやホウレンソウの播種～芽出しまでは一般的な遮光ネットを展張し、生育中盤は一度撤去。収穫前に再び展張していました。60m以上あるハウスのネットを全棟上げ下げすることはかなりの重労働です。

そこで、「涼感ホワイト」を使用した外部

開閉遮光を導入することで展張・撤去の負担が省力化できたとともに、曇天が続くなかで、開け閉めの調節や、日差しが強いときのしおれ軽減などの、こまめなハウス内の管理が可能となりました。詳細なデータ比較はしていませんが、主に5～9月に展張することで収量アップが期待できることから、今後の規模拡大を見据え、新設したハウスにも設置することにしました。



※2023年3月末現在の内容になります。引き続き仕様や設置の改良をすすめています。